

**【学校評価】**

令和2年度本校における取り組みの5つの柱について、職員・保護者・児童生徒が同じ観点で評価できるように整理・改善した評価票を用いて、12月にアンケート調査を実施した。

**【配付数と回収数】**

**依頼日**：令和2年11月17日（火）

**回収日**：令和2年12月11日（金）

**対象者**：本校在籍児童生徒とその保護者  
 ※訪問学級の児童生徒及び保護者と重複学級児童生徒は除く  
 職員  
 （育児休暇者等は除く）

		配布数	回収数	回収率(%)
児童生徒	小	5	5	100% (r1:88%)
	中	6	6	
	高	5	5	
保護者	小	5	5	80.5% (r1:43.4%)
	中	6	6	
	高	5	5	
	B	20	14	
職員		71	71	100% (r1:100%)

※未回収の理由については、連絡困難等によるもの。

**【分 析】**

**評価の分析にあたっての観点**

- 1 肯定的評価（職員・保護者評価基準：A・B，児童生徒評価基準：1）の割合が80%に達しているかどうか。
- 2 前年度「わからない」の割合が30%を超えていた項目は改善されたか。

**観 点 1** 肯定的評価80%未満の項目について

**職 員** 該当なし

※全ての項目で、前年度と同様もしくは上回る数値となった。

**保護者** 5項目（15項目中：No. 3、4、5、10、14）

(R1:6項目)  
↓  
5項目に改善

3：防災に対して、適宜見直しや改善が迅速に図られている。・・・	69.0%
4：安全で安心して学校生活を送れるよう、防災教育にも取り組まれている。68.9%	
5：登下校の通学路（病棟からの通路も含む）の安全に係る点検や指導、交通安全教室などの交通安全教育に取り組まれている。・・・	72.4%
10：子どもの意見や考えを引き出しながら、授業が進められている。・・・	75.8%
14：学習の遅れを含め、不安感ができるだけ生じないよう、様々な情報の提供や相談のしやすさ等の工夫に努めている。・・・	69.0%

○状況等（**+0%**の表記は**改善傾向**：肯定的評価が上がっている状況）

・設問3（前年度47.3%；**+21.7%**）、4（前年度63.2%；**+5.7%**）、5（前年度47.4%；**+25%**）となった。

※設問3、4、5は、前年度より数値が向上しているが80%までは至らなかった。

・設問10（前年度100%；**-24.2%**）、14（前年度79%；**-10%**）となった。

※設問10、14は、前年度より数値が下がり80%を下回っている。

**児童生徒** 4項目 (12項目中:No. 8、12、13、15)

(R1:8項目)  
↓  
4項目に改善

8: 将来の夢や希望を持つことができる。 . . . . .	68.8%
12: になりたい自分を想像し、学ぶことができている。 . . . . .	56.3%
13: 勉強や病気などの悩みを相談しやすい。 . . . . .	68.8%
15: 視聴覚機器(テレビやパソコンなど)を使い、授業に興味や関心を持っているようになった。 . . . . .	75.0%

○状況等 ( +0% の表記は**改善傾向**: 肯定的評価が上がっている状況 )  
 ・設問8 (前年度 68.2%; **-0.6%**)、12 (前年度 40.9%; **+15.4%**)、  
 13 (前年度 63.6%; **+5.2%**)、15 (前年度 54.5%; **+20.5%**) となった。  
 ※前年度より数値が上がった項目もあるが、依然 80%を下回っている。

**観 点 2** 前年度、「わからない」の割合が30%を超えていた項目について

**職 員** 設問の設定なし

**保護者** 4項目 (15項目中:No. 3、4、5、15)

(R1:4項目)  
↓  
0項目に改善

3: 防災に対して、適宜見直しや改善が迅速に図られている。 . . . . .	27.6%
4: 安全で安心して学校生活を送れるよう、防災教育にも取り組まれている。 . . . . .	27.6%
5: 登下校の通学路(病棟からの通路も含む)の安全に係る点検や指導、 交通安全教室などの交通安全教育に取り組まれている。 . . . . .	24.1%
15: パソコンや動画教材等を積極的に活用し、個々の理解や興味関心に 応じた授業の工夫や意欲の向上が図られている。 . . . . .	13.8%

○状況等 ( -0% の表記は**改善傾向**: 「わからない」の選択率が下がっている状況 )  
 ・設問3 (前年度 47.4%; **-19.8%**)、4 (前年度 31.6%; **-4.0%**)、5 (前年度  
 52.6%; **-28.5%**)、設問15 (前年度 52.6%; **-38.8%**) となった。  
 ※対象の4項目とも30%を下回り、改善の傾向が見られた。

**児童生徒** 3項目 (12項目中:No. 12、13、15)

(R1:3項目)  
↓  
3項目に留まる

12: になりたい自分を想像し、学ぶことができている。 . . . . .	37.5%
13: 勉強や病気などの悩みを相談しやすい。 . . . . .	31.3%
15: 視聴覚機器(テレビやパソコンなど)を使い、授業に興味や関心を持っているようになった。 . . . . .	25.0%

○状況等 ( -0% の表記は**改善傾向**: 「わからない」の選択率が下がっている状況 )  
 ・設問12 (前年度 50.0%; **-12.5%**) 及び13 (前年度 31.8%; **-0.5%**) は、  
 改善の傾向は見られたが、依然 30%を上回っている。  
 ・設問15 (前年度 31.8%; **-6.8%**) は、30%を下回り、改善の傾向が見られた。  
 ※設問 8 (前年度 27.3%; **+4%**) は、本年度新たに 30%を上回った。

**【全体の考察と今後の取組について、以下の項目で検討を行う】**

- ①学校 HP の掲載内容・更新頻度の増加等、活用促進の為の工夫
- ②個別面談等での啓発促進
- ③質問項目、用語等の検討
- ④治療や将来の不安等に係る相談的対応
- ⑤キャリア教育の推進
- ⑥アンケートについて
- ⑦その他

○集計データを元に、学級等で、課題の抽出や学校運営に資する具体的な改善案等の検討を校内で実施。以下、検討内容をまとめる。

①学校 HP の掲載内容・更新頻度の増加等、活用促進の為の工夫

- ・必要な情報を精選した上で見やすい画面に改善することや、文書に URL や QR コードを掲載し周知を徹底する。また、行事だけでなく日頃の活動の様子を掲載する等、今後工夫する余地がある。

②個別面談等での啓発促進

- ・日頃の様子を捉えにくい「安全指導」や「防災」といった取組は、就学面談時や個人面談当の機会をとおして、学校の取り組みを積極的に説明すると良い。

③設問項目、用語等の検討

- ・特に 80% を下回った項目は、「わかりやすさ」を筆頭に、「実情に応じた内容」、「具体性」「イメージしやすさ」等、表現や内容の工夫をすると良い。

④治療や将来の不安等に係る相談的対応

- ・チーム対応で取り組んでいる相談的対応を継続。また、医療に関する研修の上に学校としてサポートする部分を検証し、相談的対応の質を更に向上させることも一法である。

⑤キャリア教育の推進

- ・本年度から導入した「キャリアパスポート」の活用をとおして、積み重なる経験の価値を実感できるような取組を今後も継続する。また、生徒指導や道徳教育の目標との関連性を意識するとともに、小学校段階からキャリア教育の必要性について検討を進めると良い。

⑥アンケートについて

- ・アンケートの実施時期や、入院生・通学生と対象を分けた実施や分析等を行うことで、よりニーズにあった内容になるのではないかと。(そのことが、「わからない」の選択が少なくなることにもつながるのではないかと。) また、転出入が多く、病棟生と通学生がある本校の実情を踏まえ、より分かりやすい設問にできると良い。

⑦その他

- ・指導の充実を図る取組を検証し、今後も継続することが求められる。

各学級等の検討を生かし、より良い学校づくりに向け全校で具体化を図る。